

事業所職員からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年3月6日

事業所名 富山市恵光学園(児童発達支援事業 カンガルー教室)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		・安全面を確保できるような環境設定を行っている。また、活動内容によっては、机を移動させるなどし、広く使えるようにしている。 ・不要なものを撤去したり、机の配置を工夫して、スペース確保に努めている。
	② 職員の配置数は適切であるか	6		・グループの利用人数に合わせて職員を配置している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6		・グループや個人に合わせて過ごしやすい環境設定を行っている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	6		・教室終了時に清掃、換気などを行い、環境を整えている。 ・各感染症予防のため、消毒を徹底している。 ・活動内容に合わせた環境設定を行い、活動では安全を確保できるように努めている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	6		・目標設定と振り返りを日々行っている。 ・業務改善については柔軟に対応できるように職員間で話し合いを行っている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか	6		・日々の教室や評価表などを通し、保護者からご意見をいただき、改善に努めている。今後も、保護者の意見を十分に把握し、対応していきたい。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		・学園のホームページにて公開している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	・第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していきたい。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		・オンライン研修会など様々な研修にできるだけ参加し、職員の資質向上を図っている。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		・しっかりとアセスメントを行い、保護者のニーズを基に年2回児童発達支援計画を作成し、その都度評価をしている。 ・経験年数を考慮しチームで話し合い、作成していく必要がある。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	・フォーマルアセスメントツールは使用していない。事業所内で作成したアセスメントツールを使用している。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		・子ども一人ひとりの支援に必要な項目「発達支援」「家族支援」「地域支援」を子どもの状況に合わせて設定している。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		・支援目標が達成できるように、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		・毎回子どもたちの状況を確認した上で、職員で話し合いを行い、活動等を決めている。 ・経験年数を考慮し、職員間で十分に話し合いながら立案を行っている。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		・グループや発達段階に合わせて課題を設定し、固定化しないようプログラムを設定している。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6		・個別活動(机上の課題)と集団活動のどちらも取り入れ、その子に一人一人に合った支援を行うようにしている。児童発達支援計画の中に盛り込んで作成している。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		・教室開始前のミーティングにて活動のシミュレーションを行っている。また、支援内容や役割分担を全員で確認し、共通認識のもと支援を行っている。
	⑱ 支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		・カンファレンスノートを使用し、その日に行われた支援の振り返りを行っている。反省点や次回教室の改善、工夫点などを共有している。 ・教室前日・当日には、カンファレンスノートを見返し、対応などについて再確認している。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		・個人記録を作成し、次の指導に活かすことができるようにしている。
⑳ 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		・前期の評価時にモニタリングを行っている。 ・今後も必要に応じてモニタリングを行っていく。	
関	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		・会議には、児発管、教室担当職員が参加している。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	・必要に応じ、積極的に連携・支援を行ってきたい。 ・保護者と随時、連絡・相談したうえで支援を行った。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか	3	3	・該当する児はいないが、必要に応じて関係機関との連絡体制を整え、連携を図りたい。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	3	・該当する児はいないが、必要に応じて関係機関との連絡体制を整え、連携を図りたい ・協力医療機関などと連絡体制は整えている。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2	・移行支援は、保護者や在籍園からのニーズがあった場合に、保護者同意のもと、支援内容等の情報共有を図っている。
	②⑥	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		・今年度はまだ行ってはいないが、保護者からのニーズがあった場合に連携し、移行支援会議を行う。 ・入学後、必要に応じて関係機関で会議を行った。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	・当事業所は、福祉型児童発達支援センター内にあるので、連携や助言を受けたり、一緒に研修を受けたりしている。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	・みなさんが在籍園があるため交流の機会は設けていない。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	2	・管理者と障害児相談支援専門員が中心に参加している。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		・教室後にお子さんの様子について保護者と一緒に振り返り、課題や今後の支援方法について確認している。 ・電話はメール相談も受けている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行なっているか	6		・希望者を募り、ペアレントトレーニングを行った。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		・契約時に分かりやすく丁寧な説明を行うよう努めている。 ・必要時にはその都度、保護者に説明を行っている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」びねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		・児童発達支援計画を作成(年3回)し、直接保護者へ説明し同意を得ている。
	③⑭	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	6		・随時、相談がある保護者に対し、助言や支援を行っている。 ・相談を受けた際には、速やかに対応できるよう心がけている。 ・メール・電話等でも相談対応を行っている。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	・父母の会などの保護者会は開催していない。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		・必要に応じて相談員と連携し、迅速かつ適切に対応するよう心掛けている。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	・会報等は作成していないが、活動内容・ねらいなど記載した用紙を保護者に配布している。
	③⑱	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	6		・取り扱いには、十分注意している。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		・視覚的支援ツールを使用することで、意思の疎通を図ることができるようにしている。 ・重要なことは分かりやすく書面にして渡すようにしている。
④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6	・コロナ禍のため行っていなかったため、必要に応じて検討していきたい。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		・総合火災避難訓練に参加している。 ・避難場所については教室内に掲示している。 ・マニュアルは作成しファイルを教室内に設置している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		・職員は通園部と合同の避難訓練に参加している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6		・保護者からアセスメントする中で対応している。服薬や既往歴については確認しているが、予防接種については確認していない。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	・保護者からアセスメントする中で情報共有を行い、対応している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2	・教室中にヒヤリハット事例があった場合は記録として残し、通園部と共有している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		・事業所内の学習会に参加している。 ・必要に応じ、園外研修にも参加している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6		・契約時、保護者に身体拘束についての説明を行い、書面にて同意を得ている。また、児童発達支援計画にも記載している。